

産学官の気象ビジネス コンソーシアム、来月発足

発起人に日建連や全建ら

気象庁は1日、産学官で組織する「気象ビジネス推進コンソーシアム」を3月7日に設立すると発表した。建設業を含むさまざまな業種の企業の生産性向上のため、気象予報事業者とのビジネスマッチングを仲介する場として活用。設立発起人として日本建設業連合会（日建連）や全国建設業協会（全建）が参加する。会員企業・団体の募集は随時受け付ける。

国土交通省が所管分野で推進する「生産性革命プロジェクト」の一環。多業種の企業に気象予報データをきめ細かく提供し、生産性向上や新たな事業の創出などに役立ててもらおう。建設業には工事現場の効率的な人員配置戦略などに活用してもらおう。

気象庁は、今月13、15両日に東京都千代田区の気象庁講堂でコンソーシアムの説明会を開く。

設立発起人として名を連ねる計56の企業・団体や教育・研究機関のうち、建設関係では日建連や全建、いであ、パスコが参加する。